

# 修学旅行の未来像を求め

## 第5回 全修協 修学旅行セミナー

### 9月7日京都で開催



平成二年度、第五回目を迎えた「全修協修学旅行セミナー」は、「21世紀を展望した修学旅行の教育的課題」をテーマに、九月七日十三時三十分から京都駅前のアバンティホールで開催され、各地から参加した二百名余りの教育関係者に、多大の感銘を与えて終了した。

このセミナーは、財団法人全修協大阪事務局局長の学旅行研究会(全修協)が主催、文部省が後援して、昭和三十九年から毎年実施している。内容は、前半が修学旅行の今日的課題をめぐって、全修協が主体的に問題提起し、これについて文部省担当官の行政の立場からの指導助言と、後半は開催地の学識経験者を招いての記念講演とからなっている。

今回のセミナーは、司会の

### 時言

編集委員 中島和友

我が国に初の鉄道が開通したのは明治五年、東京の新橋と横浜の間であった。続いて同九年には大阪―神戸間の鉄道が営業を開始し、次々に路線を延ばして文明開化の波を広げて行った。

旅客、貨物の大量輸送機関として、鉄道は国の発展に寄与したが、修学旅行の普及にも鉄道に負うところが極めて大きく、「陸蒸気の見物」から「汽車の旅体験」へと進化した。特に往時の女性にとっては、修学旅行が一生に一度の大旅行であったといっても過言ではあるまい。

修学旅行用臨時列車も、伊勢参宮などを中心に第二次大戦中まで運転され、戦後は昭和二十年代後半に復活、学生団体には大規模な運賃割引が適用されて、当時のはげしい交通事情の中で活躍した。

昭和三十一年に東海道線全線の電化が完成し、三十四年には初の修学旅行専用列車「ひので」(きほう)が登場した。様々な特殊設備を持つ専用車両を、東京都及び京阪神三市の中学校連合修学旅行輸送のために新造したものである。

続いて、東海地区でも財団法人全修協研究会の努力により、愛知・岐阜・三重三県中学校連合の「東海三県中学校修学旅行委員会」を結成し、専用列車「まどろ」が誕生した。

更に関東地区、近畿二府四県においても、同様にそれぞれ公立中学校修学旅行委員会を結成、専用列車「わかさぎ」(わか)が、また中国地区には「わくわく」が登場した。電化の進んでいた東北と九州には専用気動車おもてん(こひつめ)がデビューし、朱と黄に塗り分けられたユニークな装飾の専用車両が、各地で連合体

# 修学旅行新聞

発行所 財団法人  
全国修学旅行研究会  
発行人 前田 寛  
東京都千代田区西神田  
1-7-8 (福) 29332  
電話 (262) 2426-6  
電報 6-36337

修学旅行は、学習を社会に移したもので、生活指導及び集団訓練の好機会であり、教育計画の一環として行う学校教育に極めて重要な行事である。

従って修学旅行を安全かつ有効に実施するための企画及び運営を科学的に調査研究して、常にその改善を努力し、ついで教育効果の充実に努める必要があり、教育界に課せられた責務でもある。

(財団法人 全国修学旅行研究会の趣意書から)

確認し、今後の課題として海外修学旅行、他の校外活動との関連、体験学習の重視等を挙げ、最後に修学旅行の教育的意義は社会の変遷によっても不変であり、安全性の確保、教育性の高揚、経済性の適正化(全修協の三原則)を基本理念において、新しい発見や創造をもたらす修学旅行を自指しての精進を希望した。

「教育改革のねらいをいかに修学旅行」と題する成田國英氏(文部省初等中等教育局教科調査官)の講演は、同氏の体験を随所に織り交ぜ、ソフナ語り口でじゅんじゅん

### 関修委研究発表会

11月15日 宇都宮で開催

関東地区公立中学校修学旅行委員会(阿部豊会長・宇都宮市立一条中学校長)

本年度(第二十五年次)研究発表会を以下の要項で開催します。教職関係者多数の御参加を歓迎します。

1 主催 関東地区公立中学校修学旅行委員会、(財)全修協修学旅行研究会

2 後援 栃木県教育委員会、栃木県市町村教育委員会連合会、栃木県中学校長会、栃木県中学校教育研究会特別活動部会

3 日時 平成二年十一月十五日(水)十三時―十六時

4 会場 プラザイン・くら

5 研究発表 主体性を育てる班別行動 小山市立美田中学校

6 教諭 松岡美久子

7 教諭 大滝 伸一

8 研究協議 7 指導講師 栃木県教育委員会義務教育課

9 連絡先 (財)全修協修学旅行研究会 田区西神田二一八七番地 電話 03・2622・2000

### 花の万博が閉幕

入場者は2,312万人超す

四月一日から大阪・鶴見緑地で開催された「国際花と緑の博覧会(花の万博)」は、半年間の会期を終え、九月三十日閉幕した。

入場者は目標の二千万人を上回る二千三百一十二万九千九百三十四人を数え、昭和六十一年の「科学万博」(約850万)の二倍以上を超えたが、日本万国博(四十五年大阪・千里)の六千四百二十万人には及ばなかった。しかし、特別博覧史上最高の入場者数となり、修学旅行や校外学習で訪れた児童生徒たちにも、数々の思い出を残した。

年度から機械読み取り可能な新しい旅券(MRP)を導入を検討している。すでにアメリカ、カナダなど七カ国で導入しているもので、サイズは現行の150×97ミリから125×88ミリに小型化される。

と語り、多くの参加者に深い感銘を与えた。要旨(2面に)分りやすく人の感性に訴える話し方について説き、「話すことは真剣勝負なり、命をかけて学ぶことなり」との道元(一話すといつこと)と題する記念講演は、さすがは「話すこと」についての専門家、司会者が講師に対する謝辞を述べた後、三十分閉会した。

研究結果を縦横に駆使して、分りやすく人の感性に訴える話し方について説き、「話すことは真剣勝負なり、命をかけて学ぶことなり」との道元(一話すといつこと)と題する記念講演は、さすがは「話すこと」についての専門家、司会者が講師に対する謝辞を述べた後、三十分閉会した。

### 風紋

昭和初期のこと、欧州航路のある船長が、通過した多数の燈台に「おかげで無事に航海している」との礼状を出し続けたという。小泉信三(平生の心がけ)の中に話がある。▼台風十九号の影響による大雨のため、新幹線三河安城―名古屋間で、盛り土が崩れ落ちた。発見したのは、始発前の安全点検をしていた確認車だ。土嚢で固め、杭打ちをして応急処理を行ったが、開通後も沈下があり、保険関係者は風雨の中で列車の通過ごとに補修を続けた▼「花の万博」は目標を上回る二千三百二十万余の入場者を数えて盛況裡に幕を閉じた。花は生き物、水がなければ枯死する。皮肉にも、かつてない猛暑と雨不足に見舞われた悪条件の中で、花木の手入れには「フル注射」が行われた。海外からの多くの協力を始め、植替えなどの深夜の作業や清掃・警備・医療活動など、裏方の支えあつての国際博覧会だ。▼夏に山や海などへ出かけた人は七千万を超えるが、ゴミの量も大変なものだ。散乱する空き缶やゴミの収集など、ポニー・ガールスカウトを始め、多くの人々のボランティア活動が観光地を支えた▼秋たげなわ。絶好の修学旅行シーズンでもある。生涯の楽しい思い出(おかげ)に裏方の存在があることに気付かせ、感謝する心を育てたいものだ▼NHKのアンケート調査によると、日本語が一番美しい言葉は「ありがとう」でした。過日の全修協修学旅行セミナーにおける記念講演(笠井チーフアナ)の中の話である。(北)

信頼される旅づくり

修学旅行は、プランニングから実施まで、安全で意義深いものでなければなりません。近畿日本ツーリストでは、修学旅行に必要な事項をキメ細かく網羅した全国地域別「企画書シリーズ」を作成し、ご活用いただいております。さらに、北海道から沖縄まで、修学旅行・ビデオテープ「学習の旅シリーズ」もご用意。学校の教育方針に沿いながらも、生徒ひとりひとりの心に輝く思い出づくりのため、国内・海外のネットワークを駆使して、細心の努力をいたします。

# 心にあざやかな思い出、

## ツーリストの修学旅行。

近畿日本ツーリスト

本社 千101 東京都千代田区神田松永町19-2  
支店/国内250店(登録)/海外15店 ©運輸大臣登録一般旅行業第20号

・はじめに  
長野県生まれの私は、それまでで諏訪湖しか見ていなかった。修学旅行で新潟県の柏崎へ行き、そこで初めて日本海を見たときの驚き、印象は強烈で終生忘れ得ないものとなっている。修学旅行の意義は、このようにあるのではないだろうか。

これからの話の進め方として、最近の子供をめぐる生活環境の変化をさぐり、このように子供が生活環境の変化を前に置いて、これに対応する今後の修学旅行を含めての学校教育の在り方を追求することにした。

今回の教育課程改善の視点は、教育課程審議会の各甲改善のねらいに示されている次の四点に裏付けされている。

- ①豊かな心をもち、たくましく生きる人間の育成を図ること。
- ②自ら学ぶ意欲と社会の変化

に主体的に対応できる能力の育成を重視すること。  
③国民として必要とされる基礎的・基本的な内容を重視し、個性を生かす教育の充実を図ること。  
④国際理解を深め、我が国の文化と伝統を尊重する態度の育成を重視すること。

### 教育改革のねらいを

### 生かす 修学旅行

文部省初等中等教育局 教科調査官 成田 國英

ではこれまで学校行事の「旅行的行事」に位置づけられていたが、今回の改善で「旅行・集団宿泊の行事」となり、集団宿泊(人間の触れ合い)や体験が重視されることになった。

- 1 子供の生活環境の変化
- ①子供の人間関係の希薄化
- ②子供の生活環境の変化
- ③豊かな生活に慣れきっている子供

以上のようないくつかの生活の変化は、対人・人間関係の未熟さとなって現れている。

- ①基本的な生活習慣の欠如
- ②食生活の乱れ
- ③遊び、おのずと連帯感を失っている

このように環境に育った子供たち、この子供が国際社会に生きていくのである。安心して送り出すことができるようか。ここに家庭での親の指導と、学校での教師による指導の交錯をみる。この行き違いを正すのが「教師と生徒が寝食を共にする教育の場」である。集団宿泊を伴う学校行事がこのような理由でますます重視される。

### 常務理事 村山助雄君を悼む

財団法人 全国修学旅行研究協会

理事長 山 本 種 一

九月二十四日朝、村山助雄君が肝不全のため福岡市江頭病院で亡くなりました。その訃報に接した私は、巨大な山塊が突如地響きを立てて崩れるような衝撃を受けました。

昨年福岡で中四国九州地区協議が開催された折、奥様とともに都ホテルに訪ねてくれた時は、胆石症のため入院して手術後、小康を得て退院後しばらくたってからの入院、腰に胆汁バッグを付けたままであった。病後とあって本来の健康な姿ではなかったが、言語動作はしっかりといて顔色もよい。食事も普通

は家に閉じこもり、漫画、テレビゲームに熱中し、自分だけの生活に浸り切っている。学校外の教育活動に参加する子供の増加

- 学習塾、習字、珠算、ピアノ、バレエ、水泳などのけい古事に、放課後や土日も競って参加し、自由な時間が減少している。

はんを食べる85%、朝顔を洗う68%、台所の流しに食器を運ぶ23%となっている。

学校給食では、食後の後片付けは全員が行っている。日常生活に対する親の基本的姿勢にも問題がある。核家族の影響もあると思われる。

教師と生徒の人間関係を深める。教師と生徒の人間関係は、新幹線での隣の座席の旅人同士のように、淡く薄く感じられつつある。

わけても全修協の創立に当たっては、早くも参画して、創立の中心的役割を担い、常務理事として組織運営の中核として活躍し、同志を糾合して全国組織の基盤を作るなど、実に東西奔走し、全修協組織発展のために尽くされた情熱と行動は、全修協の歴史の光を照らし、永久に不滅の光を放つことであろう。

静かに出発する村山君の霊柩車を見送る瞬間止めても涙が流れた。

ただ悲しきは、君去りて我が身辺にのみ蕭条たるを如何にせん。今はただ謹んで御冥福を祈るばかりである。



村山 助雄氏(むらやま・すけお)財団法人全国修学旅行研究協会常務理事・九州事務所長。九月二十四日肝不全のため福岡市江頭病院で死去。七十九歳。葬儀は九月二十六日三時三十分から福岡市早良区野芥の日蓮宗妙見山徳栄寺で営まれた。喪主は遺子夫人。自宅は福岡市早良区野芥三二五五。



村田 正實氏(むらた・まさみ)財団法人全国修学旅行研究協会常務理事・九月七日肺炎のため玉名市の公立玉名中央病院で死去。七十六歳。葬儀は九月十四日十四時から玉名市立願寺一七四の自宅で営まれた。喪主は悦子夫人。

とびだせ自然へ 緑の箱根へ

レクチャーホール

〒250-05 神奈川県箱根町元箱根164 電話0460-4-8595(代表)

### 箱根高原ホテル

●修学旅行/林間学校/スキー体験学習

### 奥日光の自然と仲間たちとの語らい……

夏は林間学校、冬はスキー 自然探勝の基地として日光国立公園内にたつ当ホテルをご利用ください

鉄筋3階建/小学生550名/中学生550名/高校生450名収容/大浴場あり

### 奥日光高原ホテル

〒321-16 栃木県日光市湯元温泉 TEL. 0288(62)2121(代表)

## きっと、思い出いっぱいの旅になる。

修学旅行は、鈴鹿サーキットで体験学習。

見て聞いて、触れて学ぶ。ためになる体験をしたら、宿泊はリゾート感覚あふれる「ホテルK棟」をご利用ください。魅力的な施設・サービスが修学旅行を思い出深いものにします。学校団体用SPECIAL PRICEにてお待ちしております。

そのほか、北欧風のD棟・E棟・J棟、団体でのお泊りに便利なビレッジF棟など多彩な宿泊施設もご利用ください。

体験学習のご案内

- エンジン教室 ●本田技研鈴鹿製作所工場見学
- モトピア ●モータースポーツ観戦 ●地曳綱
- 潮干狩 ●伊勢形紙彫り ●茶摘み ●テーブルマナー 他

お問い合わせ・申し込みは

### 鈴鹿サーキット

〒510-02 三重県鈴鹿市福生町7992 ☎(0593)78-1111  
〒107 東京都港区赤坂2-17-22 東京営業所  
赤坂ツインタワービル東館16階 ☎(03)582-3221